

レイモンド下高井戸保育園

東京都杉並区

設計・監理／アーキヴィジョン広谷スタジオ
 施工／鬼塚工業



床にレベル差を設けた3-5歳保育室から外部を望む



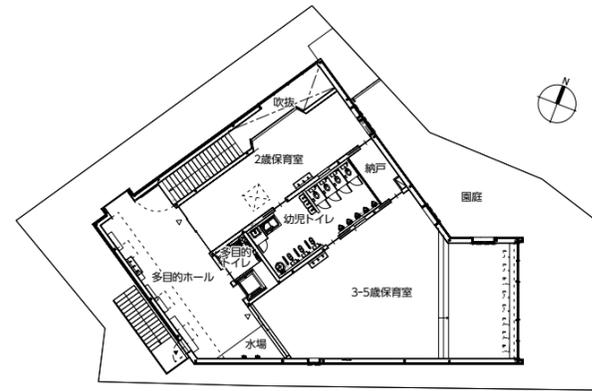
左上／2歳保育室 中上／3-5歳保育室から多目的ホールを望む 右上／エントランスホールの吹抜け 左下／多目的ホール 右下／1歳保育室と外部デッキテラス



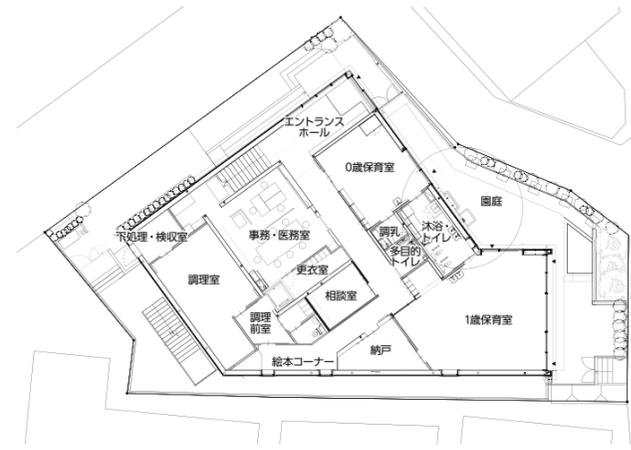
エントランス側外観



乳児のスケールに合わせ繊細な植栽が施された園庭



2階平面図



1階平面図 縮尺1/400

東京都杉並区の住宅街に建つ定員80名の認可保育園の計画である。限られた敷地の中で広がりのある内部空間を確保するため、変形敷地に沿うような平面計画とした。2階は保育室と多目的ホールが屋根勾配なりにつながるおらかな空間となっている。天井高さが1.9m~4.5mまで変化する空間の中で、床レベルの変化や開口の位置・高さの違いにより、さまざまな保育シーンに対応する多様な場を生み出している。多目的ホールへ続く吹抜けのエントランスホールが、その雰囲気をも1階へとつなぎ、全体としての一体感を生み出している。

都心型の保育所は閉鎖的になりがちだが、開口の大きさをコントロールしながらトップライトも含めどこかしらに視線が抜ける構成となっている。エントランスの大開口には、道路からの視線制御と西日対策から、テキスタイルデザイナーによるオリジナルカーテンを掛け、街ゆく人たちに印象的なシーンを提供している。カーテン越しに見える保育室の様子や、出窓のように見える多目的ホールの窓は、プライバシーに配慮しつつも、保育園の様子を外部に発信する交流の場である。

(広谷純弘+石田有作/アーキヴィジョン広谷スタジオ)

レイモンド下高井戸保育園 データ

所在地 東京都杉並区下高井戸3-23-10

主要用途 保育園

建築主 社会福祉法人榊橋会

設計・監理 アーキヴィジョン広谷スタジオ

担当/総括：広谷純弘、石田有作 建築：片山美保

構造 北條建築構造研究所 担当/北條稔郎、西川正太郎

設備 アズプランニング

担当/棚田兼蔵、坂井俊太郎、船崎洋子

外構 スタジオテラ

担当/石井秀幸、久保沙織、野田亜木子

施工 鬼塚工業

担当/渡部順子

設計期間 2018年1月~2018年9月

工事期間 2018年10月~2019年3月

【建築概要】

敷地面積 509.58㎡

建築面積 290.05㎡

延床面積 546.13㎡

建ぺい率 56.92% (許容57.11%)

容積率 107.17% (許容182.68%)

構造規模 S造 地上2階

最高高さ 9.48m

軒高 9.37m

階高 3.185m

天井高さ 2.4~4.5m

道路幅員 6.0m

地域地区 都市計画区域内、市街化区域

【施設概要】

定員 80名

1クラス人数 3人~17人

1クラス面積 25.4~112.29㎡

【設備概要】

電気設備 受電方式/低圧受電方式

空調設備 空調方式/EHP空調方式 熱源/電気

衛生設備 給水/市水、直結給水方式 給湯/ガス給湯器

分散設置による個別給湯方式 排水/直接放流

防災設備 消火/消火器 排煙/自然排煙 その他/非常用照明設備、誘導灯、自動火災報知設備

昇降機 ダムウェーター1基

【主な外部仕上げ】

屋根 カラーガルバリウム鋼板

外壁 ガルバリウム鋼板

外構 ウッドデッキ

建具 アルミサッシ

【主な内部仕上げ】

保育室・ホール 床/複合フローリング 壁/杉羽目板

(t12)貼OF仕上、シナ合板(t4)OF仕上 天井/ロックウ

ール化粧吸音板(t12)

撮影/小泉一斉 (Smart Running一級建築士事務所)



広谷 純弘……ひろた よしひろ

1956年和歌山県生まれ。1980年東

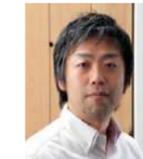
京理科大学工学部建築学科卒業、

1980~2006年建築研究所アーキ

ヴィジョン、2006年アーキヴィジョン

広谷スタジオ設立。現在、和歌山大学

客員教授、東京理科大学非常勤講師



石田 有作……いしだ ゆうさく

1969年埼玉県生まれ。1992年武蔵工

業大学建築学科卒業、1994年武蔵工

業大学院修士課程修了、1996~

2006年建築研究所アーキヴィジョン、

2006年アーキヴィジョン広谷スタジオ

設立。現在、東京都市大学非常勤講師

協力会社

電気設備工事 二巧電設

空調・衛生設備工事 ユーワテック

アルミ製建具工事 Y K K A P